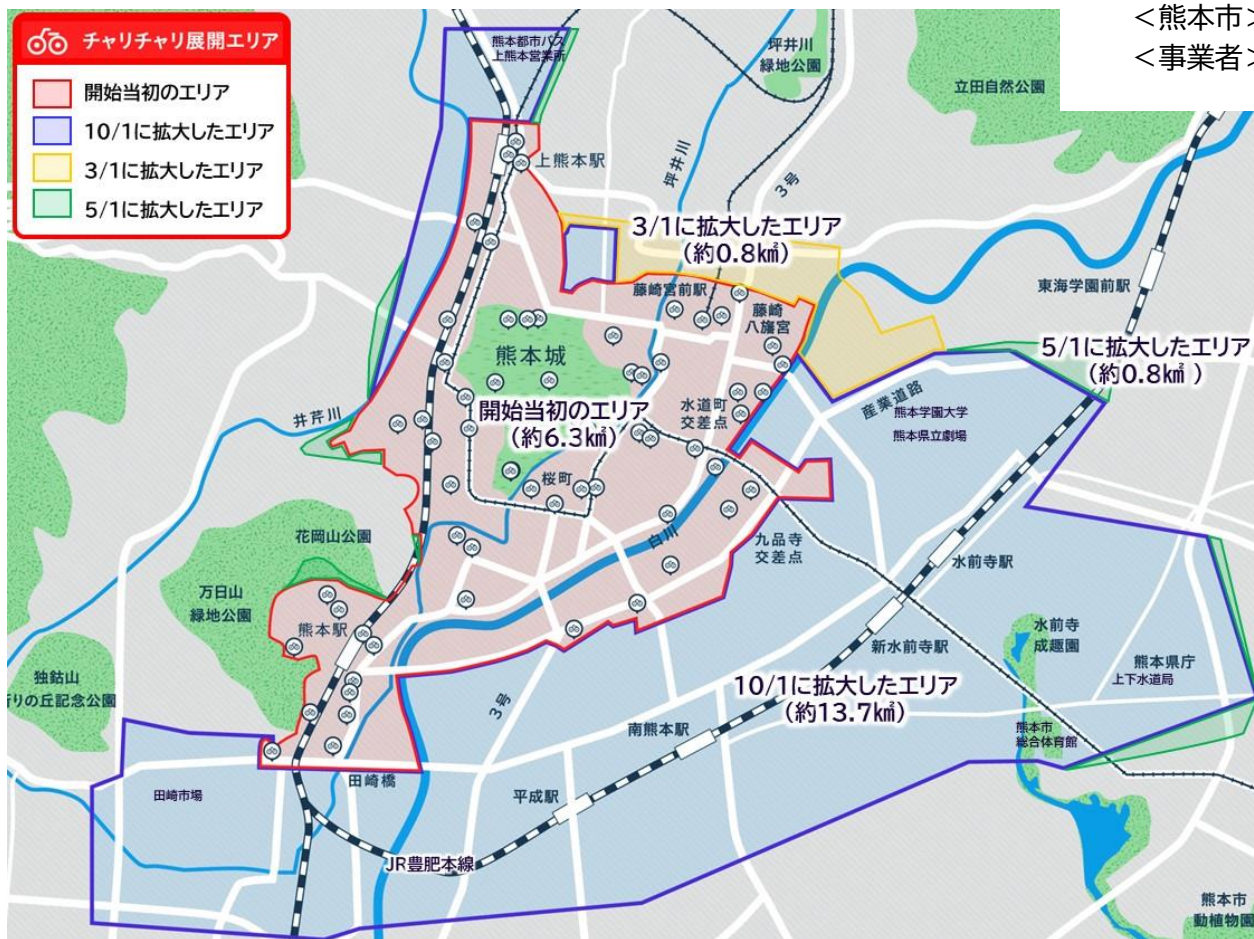


1 事業概要

◆ 実証実験の目的

- ・ まちなかの新しい移動手段としてシェアサイクルを導入
- ・ 中心市街地の回遊性向上や自動車から公共交通への移動の転換
- ・ 駅や電停、バス停から目的地へのラストワンマイルの移動手段を充実

◆ 利用エリア



◆ 事業期間

令和4年(2022年)4月28日 ~ 令和6年(2024年)3月31日 (2年間)

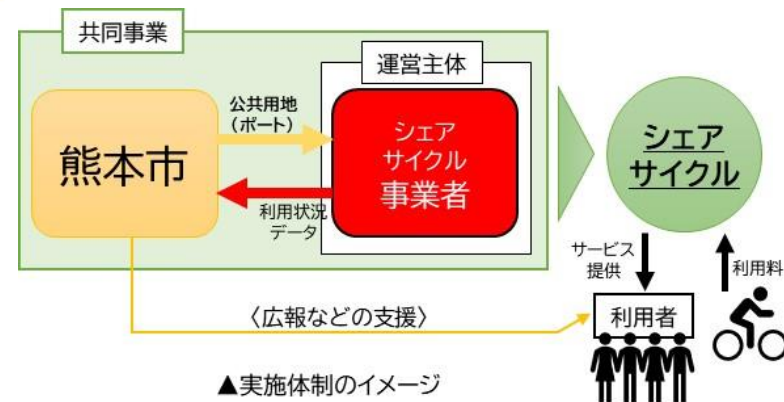
◆ 実施体制

・ 熊本市とneuet(株)の共同事業

- <熊本市> 公共ポートの確保、広報
- <事業者> ポートの設置、管理・運営



※事業費はすべて事業者負担



普通自転車:(料金)6円/分

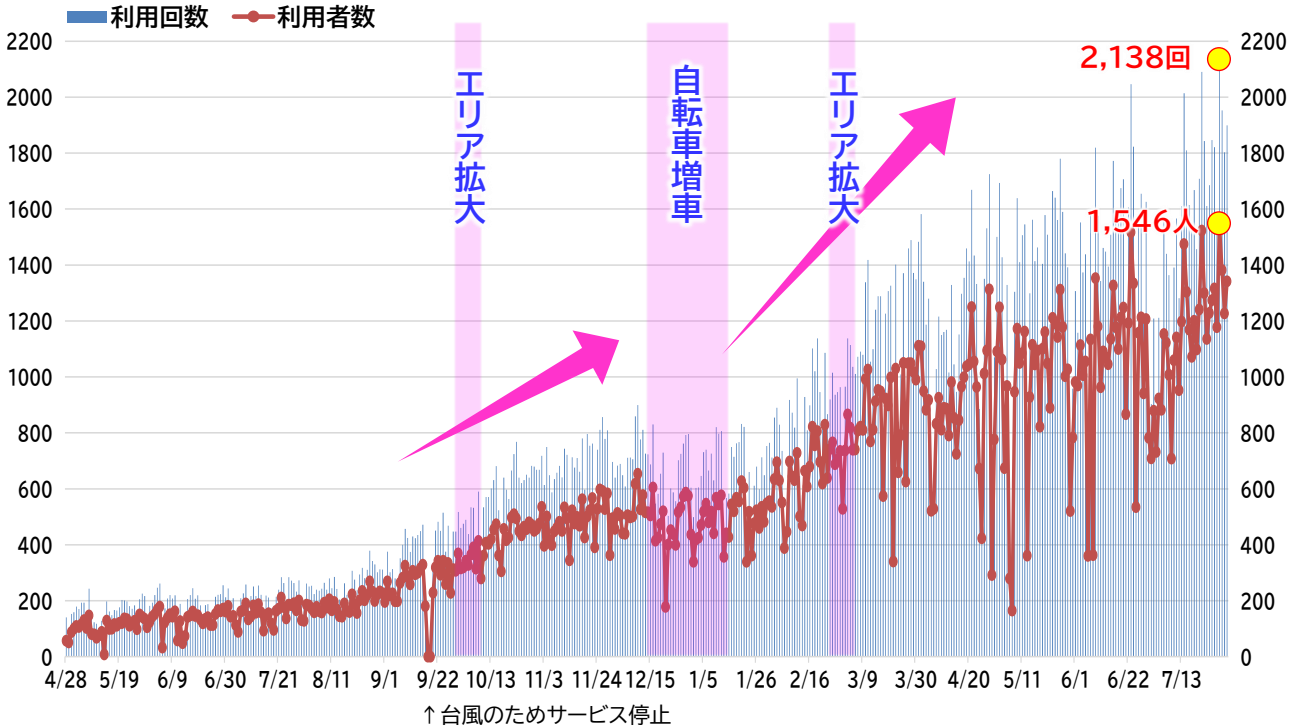


電動アシスト:(料金)15円/分

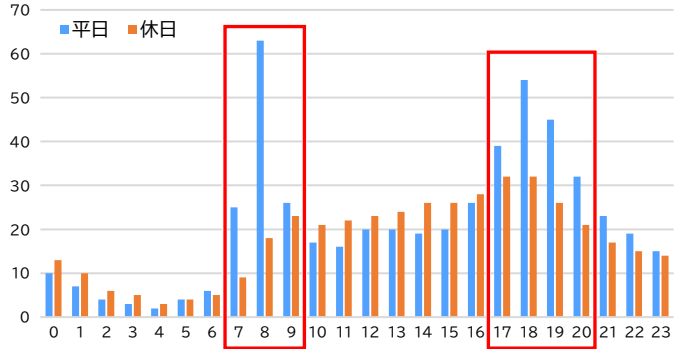
2 利用状況

平日は通勤時間帯が多く、
休日は常に一定数の利用がある
「チョイ乗り」が定着

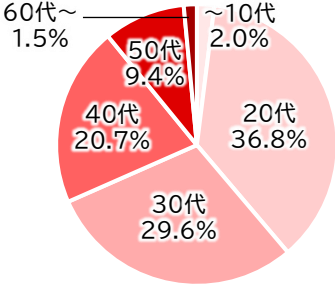
◆ シェアサイクルの利用回数・利用者数 (R4.4.28~R5.7.31)



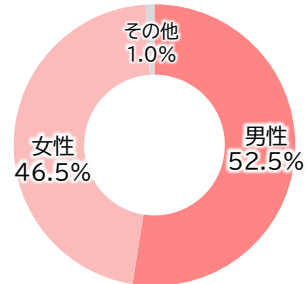
◆ 時間帯別ポート発着数 (R5.3.1~3.31)



◆ 利用者の年齢構成



◆ 利用者の性別



令和5年7月末までの実績(460日間)

利用者数 252,033人
(平均 548人/日)
(最高 1,546人/日) 7/28

利用回数 343,774回
(平均 747回/日)
(最高 2,138回/日) 7/28

(開始時) (7月末)

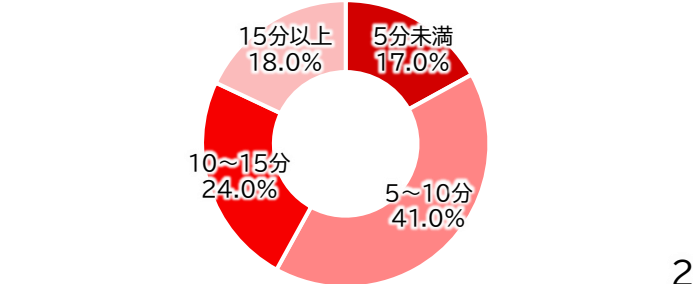
ポート数 42か所 ⇒ **208**か所 (うち公共ポート**46**)

車両台数 110台 ⇒ **900**台

	平均	5月	9月	10月	3月	7月
利用者数	110人	260人	410人	851人	1,145人	1,145人
利用回数	166回	366回	579回	1,144回	1,567回	1,567回

2.2倍 3.5倍 6.9倍 9.4倍

◆ ライド時間の分布 (R4.4.28~R5.3.31)



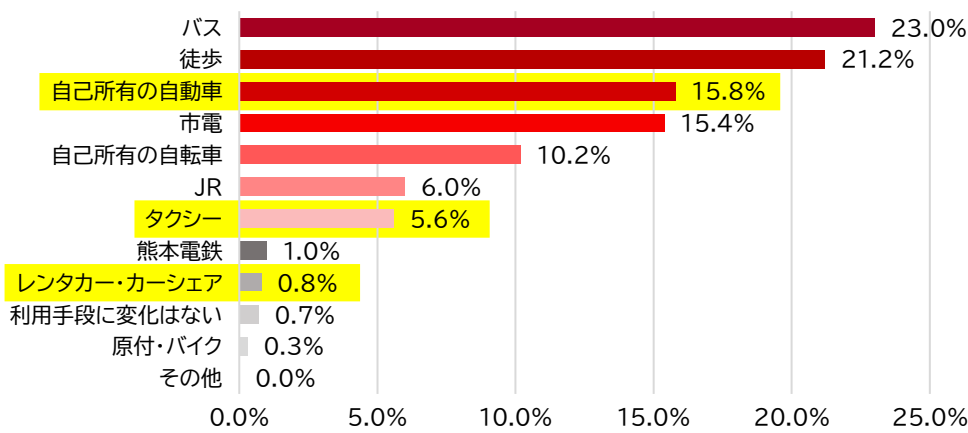
シェアサイクル実証実験事業について ③

3 事業効果

① 交通

- シェアサイクル利用者のうち、約22%が車からの転換で、**自動車の抑制に効果あり**
- 交通結節点のポート利用が多く、1/4が駅やバス停を結ぶ移動に利用されており、**二次交通として公共交通を補完**

◆ シェアサイクルを利用する以前の主な移動手段 (N=2,291)



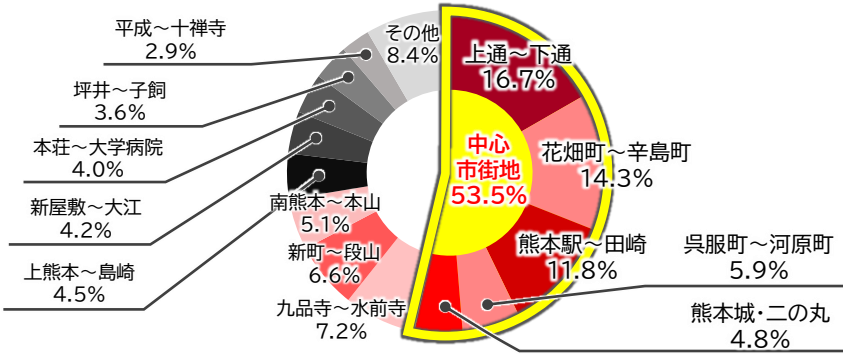
◆ 利用ポート上位10 (R5.7.1~7.31)

	ポート名	出発数	到着数	合計数	駐輪台数
1	花畑広場	1,620	1,605	3,225	32
2	アミュプラザ熊本	1,414	1,390	2,804	24
3	熊本市役所駐車場	1,292	1,295	2,587	20
4	ザ・ニューホテル熊本	1,247	1,251	2,498	12
5	SAKURA MACHI Kumamoto	1,298	1,130	2,428	19
6	COCOSA	1,063	1,270	2,333	5
7	熊本立体駐車場	995	975	1,970	19
8	蓮政寺公園	965	975	1,940	8
9	ヴィレラ辛島	818	851	1,669	5
10	ファミリーマートワシントン通り店	721	733	1,454	4

② 回遊性

- 中心市街地での利用が5割を占めていることから、**街なかの回遊性向上に寄与**

◆ よく利用するエリア (N=1,090)



③ 環境

- アクアドーム1.7個分のスギの木が吸収する**約32トンのCO2を削減**

④ 健康

- マイカー等からシェアサイクルへの転換により、**約2千万円の医療費を抑制**

4 利用者の声・課題 ~アンケート調査結果~

利用者の声

- ✓ バス停までの移動にチャリチャリがとても便利で、**ポートに乗り捨てていける点がとても助かっている！ 移動が楽になった！**
- ✓ 車に乗ることが少なくなり、**体重も減って健康になった！ お財布にも優しい！**

課題・要望

- ✓ **台数に偏りがある！** ポートにムラがあるので**ポート数を増やしてほしい！**
- ✓ **利用エリアを広げてほしい！** 自転車での行動範囲が広がる！
- ✓ **1日または1カ月乗り放題プランがあるとうれしい！**

5 今後について

◆ 利用促進に向けた取組

いつでもどこでも借りて返せる環境をさらに充実

ポート数 : 208か所 → 225か所 (年内)

ポートの密度を高め、より高い回遊性の実現を目指します！
※R5.7.31時点で208か所

自転車台数 : 900台 → 1,100台 (年内)

車体の偏りを解消し、いつでも借りられる環境の実現を目指します！
※R5.7.31時点で900台

シェアサイクルを利用できるエリアをさらに拡大

利用エリア拡大 : 熊本大学方面 (年内)

自転車利用が多いエリアや交通結節点を中心にエリアを展開します！
※公共交通との結節や利用者からの要望、管理運営状況を踏まえて設定

◆ 利用者拡大に向けた取組 ~イベントとの連携~



⇒今年度のバス・電車無料の日でもコラボ！



◆ 次年度以降の方向性

シェアサイクルの多大な効果を確認 (交通、回遊性、環境、健康)



シェアサイクル事業の本格導入に向けて
関係者と調整を図る

◆ 今後のスケジュール

	R5年度（2023年度）									R6年度（2024年度）	
	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5
実証実験											
	ポート増設、自転車増車			エリア拡大							
	実証実験									本格導入	